

『レシート』で学べる金融教育

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、長く中学校の社会科教諭を務めた経験を活かし、身近なレシートを教材とした金融教育の授業を実践している、山崎二郎先生の取り組みをご紹介します。

社会科教諭として 金融教育に関心を持つ

山崎先生は長年、中学校の社会科教諭として教鞭をとってきたベテラン教師。平成19年の千葉市立誉田中学校での教諭時代、全国中学校社会科教育研究大会において公民の授業でクレジットカードをテーマに取り上げるなど、金融教育の必要性を意識し、工夫を凝らした授業を行ってきました。その後管理職となり授業を行う機会がなかなかない現在でも、さまざまな授業づくりに取り組んでいます。とくに、レシートを使ったカリキュラムは好評で、都道府県金融広報委員会の「先生のための金融教育セミナー」などでゲスト

「ナー」などでゲストティーチャーとして実践事例の発表（模擬授業）を行っていました。最初は中学生向けでしたが、現在では小中高向けにそれぞれの授業案を作成し、セミナーに参加した先生方に提供しています。

レシートから見える 金融教育とは？

そもそも山崎先生がレシートに注目したのは、価格や消費税を勉強するために活用できるのではないかと



考えたことがきっかけでした。レシートは子どもたちの生活・体験と非常に近い距離にあり、日常生活の中でたびたび目にします。よく見ると意外に多くの細かな情報が詰まっており、「レシートを使って、おもしろい金融教育の授業ができるので

千葉県
千葉市立新宿小学校
山崎二郎教頭

小学校家庭科5年「じょうずに使おう 物やお金」

1時間目 ねらい	<p>★「恐るべし レシート」その1 レシートについて知ろう 準備するもの：レシート1枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レシートにはその小さな紙面のなかに「金銭の使い方や買い物」に関する多様な内容が含まれていることに気付かせる。 ●学習材としての「レシート」とこれからの学習に対する興味・関心を高める。 ●レシートに記されている事項が持つ意味（価値や役割）を認識させることによって、実際の経済活動における事柄に関心をもちさせる。
2時間目 ねらい	
3時間目 ねらい	<p>★「恐るべし レシート」その2 あなたの買い物があきらかに！ 準備するもの：新たなレシート1枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レシートに記されているいくつかの事柄に着目させ、買い方（物の選び方）や金銭の使い方について考えさせる。 ●目的を持った物の選び方や買い方の工夫の大切さに気付かせ、これからの生活において適切な購入（目的・計画・記録）について理解を深める。思考・判断・表現
4時間目 ねらい	<p>★レシートのここ、こう変えてみてはどうですか！ 準備するもの：提言をまとめるためのワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●提言を考えるプロセスを設けることにより、思考・判断・表現する力を培う機会とする。 ●実際に経済活動を行っている企業に発信（提言）することにより、実社会（教室外）から新たな・深い知識を得る機会とする。 ●「消費者としての行動」を振り返らせる。

中学校社会科（公民）3年「レシートから経済を見てみよう！」

1時間目 ねらい	<p>★「レシートには経済が詰まっている？」 準備するもの：レシート1枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レシートにはその小さな紙面のなかに「経済単元」を学ぶ多様な内容が含まれていることに気付かせる。関心・意欲 ●学習材としてのレシートとこれからの経済単元学習に対する興味・関心を高める。関心・意欲
2時間目 ねらい	<p>★「レシートってすごい」 準備するもの：1時間目に使った同じレシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レシートに記されている事項が持つ意味（価値や役割）を認識させることによって、実際の経済活動における事柄を理解させる。知識・理解
3時間目 ねらい	<p>★レシートのここ、こう変えてみてはどうですか！ 準備するもの：提言をまとめるためのワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●提言を考えるプロセスを設けることにより、思考・判断・表現する力を培う機会とする。思考・判断・表現 ●実際の経済活動を行っている企業に発信（提言）することにより、実社会（教室外）から新たな・深い知識を得る機会とする。知識・理解 ●「消費者としての行動」を振り返らせる。関心・意欲
4時間目 ねらい	<p>★価格が違う！なぜ？～レシートからその理由を考える～ 準備するもの：新たなレシート2枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レシートを比較することで、理由と関係がある「違い」を見つけ、見つけた「違い」が理由となるように、わかりやすい説明を行う。思考・判断・表現 ●価格について理解する。知識・理解 <p>価格の決め方（需要と供給） 価格を構成する要素 価格の動き（消費者にとって 企業にとって） 様々な価格（公共料金等）</p>



はないか」と気づいたそうです。

「例えば、店（会社）の名前、キャッシュコピー、電話番号・店番号、年月日・時刻、「領収書」の文字、品物の番号・名前、値段（価格）、消費税、買い物ポイント、レシート番号、バーコード、レジ担当者名と、1枚のレシートには、経済に関するさまざまな情報が含まれています。小学校なら家庭科（じょうずに使おう物やお金）、中学校は社会科公民（経済）、高校は家庭科（消費生活）など、レシートの情報を読み解くことを通して、そうした授業の単元の一環として活用ができます。しかも、日常的に手にするものだから、再確認や追体験ができる。授業時間も、1週間以内で終了できる点も教材としてちょうど良いと思えました」。

小学生の提案「レシート、ここを変えた方がいい」

分類	人数	主たる提案	具体的な提案
分量	4人	全体的にもっと少なくする	折らないで財布に入るくらいの長さにする
			ポイントの説明部分を短くする
			お知らせ部分をカットする
配置	4人	記す順番を変える	店の住所や電話番号、レシート番号、レジ担当者名は下の方にまとめた方が見やすい
文字の大きさ	18人	もっと大きくする	大切な情報、特に注意事項の部分はお年寄りも見えるくらいの大きさにする
			小さいと見ようとする気分がなくなるので、記す内容をしばって文字を大きくする
			文字が大きいほど、店の気持ちが伝わりやすい
惹きつける工夫	10人	レシート全体の色を変える	お客も興味を持ってきて、何度も来ようと思う
		大事な部分だけ文字の色を変える	全部同じ色だとインパクトがない
		文字以外があった方がよい	「！」マークなども入れた方が面白い
			会社のマークやキャラクターを入れる

小学生の視点・レシートから学べたこと

山崎先生は現任校で、5年生の家庭科の授業を行う機会があり、自身のプログラムを実践しています。

レシートのコピーを渡され、「レシートには何が書かれていましたか？」と問いかけられた子どもたちは、「ゲーム感覚で項目をリストアップしながら、同じ商品なのに時間によって値段が違うなど、素朴な疑問



普段は意外と詳しく見ることが少ないレシートには「経済」が詰まっています



授業構想を示したもの、「なぜレシートを教材とするのか」や授業のねらいと方法が整理されています

を見つけていったといいます。そして関心を高めた子どもたちは、商品を購入した時間帯に興味を持ちたり、ポイントの付き方に注目したり、自分たちで着眼点を広げていきました。さらに、「無駄な買い物をしないかどうかを確かめることができる」「買った日時や物がわかるので便利」「買ったことの証明になる」とレシートからさまざまな気づきをえました。

さらに授業では、レシートを見て「購入者（消費者）の立場からここ



をこう変えると良いのでは」という改善点を話し合い、検討した結果をドラッグストアチェーン本部に提言として提出しました。「文字をもっと大きくする」「配置を変える」「折らずに財布に入る大きさに」「色を使ってみては」など、小学生らしい提言に対して、同社のお客様相談室から感謝の言葉とともに、出来ないことについてはその理由が丁寧に説明されました。子どもたちにとって、「実社会に自分たちの声が届くという、嬉しく貴重な体験につながった」と山崎先生は話します。

身近なものを教材に、 金融教育の実践を

山崎先生の「レシートによる金融教育」は、千葉県内の後輩の先生や各地のセミナー・講演で模擬授業を体験した先生方を中心に広まっています。先生方からは、「そのまま教材としてやってみよう」という声以外にも、「身近なレシートを教材にする発想を参考にしたい」などの感想も寄せられています。山崎先生自身は「身近にあるものでも十分に教材になりうるという、新たな発見を

持ってもらえたことが嬉しい」と手応えを実感。「金融教育は生活と切っても切れないものでありながら、意外にきちんと教わっていないものです。金融教育の大切さへの認識が高まっている今こそ、学校でも教える機会を増やすよいタイミングだろうと思います。また、現場の先生は『明日の授業で使える実践例』を一番求めています。児童生徒が興味をもって学べる授業づくりを続けて、先生方の実践の役に立てば嬉しいですね」と山崎先生は話しています。



金融教育の現場レポート

『レシート』で学べる金融教育

千葉県
千葉市立新宿小学校 山崎二郎教頭